

平成 23 年度事業状況報告書

定款第 5 条第 1 項の (1) から (5) に掲げる平成 23 年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

記

1 号事業報告：

(1) 全国大会の開催

平成 23 年 8 月 31 日(水)から 9 月 2 日 (金) まで西南学院大学 (福岡県福岡市早良区西新) において、「CHALLENGES FOR TERTIARY ENGLISH EDUCATION- JACET's Role in the Next Fifty Years」をテーマに第 50 回記念国際大会を開催した。参加者数約 1,000 人。海外からの招待者および海外提携学会代表による招待講演 13 件, JACET50 シンポジウム 3 件, 特別シンポジウム 2 件, 特別委員会ポスターセッション 1 件, 英語教育学大系シンポジウム 8 件が行われた。また、JACET 研究会の活動を紹介するために、JACET SIG ポスターセッション 34 件が行われた。その他、研究発表、実践報告、事例研究、シンポジウム、ポスターセッション、ワークショップの分野で発表が行われ、それぞれの要旨が Proceedings(デジタル版) としてまとめられた。

会員には、11 月に刊行した『JACET 通信大会特集号』にて全体報告と、基調講演、全体シンポジウム等に関する報告を行い、学会 HP にも掲載した。助成金を交付していただいた福岡観光コンベンションビューローと、後援名義許可をいただいた文部科学省、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、在福岡米国領事館、駐福岡韓国総領事館、駐福岡中華人民共和国総領事館、在福岡オーストラリア総領事館に事業実績、決算報告を行った。50 回の記念大会にふさわしく盛会であり、日本の大学英語教育の歴史を振り返りこれからを展望する観点で、会員同士の活発な学術交流が行われた。

(2) セミナーの開催

平成 23 年 7 月 17 日に早稲田大学において、「小中高大連携の英語教育 その可能性を探る—共通の枠組みの構築—」をテーマとしてセミナーが行われた。4 つの講演とその後 4 講師合同によるワークショップが実施されたが、活発な論議が展開され、参加者からも好評であった。

(3) 春季セミナーの開催

平成 24 年 3 月 11 日に早稲田大学にて、「小中高大連携の英語教育を目指す共通枠活用の試み (発展編)」をテーマに春季セミナーが行われた。いくつかの実践例の経過・成果を全員が共有することで、より具体的な議論が可能となった。講演、質疑応答、ワークショップを通じて、参加者間の活発な交流が行われ、成果は教育家庭新聞に掲載された。

(4) 支部大会の開催

以下のように各地で支部大会を開催した。支部大会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となった。また、研究大会については、各支部ニューズレターで報告された。

- ・ 北海道支部大会 平成 23 年 7 月 9 日
- ・ 東北支部大会 平成 23 年 12 月 4 日
- ・ 関東支部大会 平成 23 年 6 月 26 日
- ・ 中部支部大会 平成 23 年 6 月 4 日
- ・ 関西支部(40 周年記念)大会 平成 23 年 11 月 27 日
- ・ 中国・四国支部大会 平成 23 年 6 月 4 日

(5) 支部講演会の開催

以下のように、各支部において講演会が開催された。講演会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・ 中部支部講演会 平成 23 年 10 月 1 日
- ・ 関西支部 1~3 回講演会 平成 23 年 6 月 18 日, 平成 23 年 10 月 1 日, 平成 23 年 3 月 3 日
- ・ 九州・沖縄支部春季学術講演会 平成 23 年 7 月 2 日
- ・ 九州・沖縄支部秋季学術講演会 平成 23 年 12 月 17 日

(6) 支部研究会等の開催

以下のように各支部において研究会が開催され、これらの研究会で披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・ 北海道支部研究会：第 1 回：平成 23 年 6 月 4 日，第 2 回：平成 23 年 11 月 26 日，第 3 回：平成 24 年 3 月 18 日
- ・ 関東支部月例研究会：第 1 回：平成 23 年 5 月 14 日，第 2 回：平成 23 年 12 月 17 日
- ・ 中部支部 12 月定例研究会，2 月定例研究会：平成 23 年 12 月 10 日，平成 24 年 2 月 18 日
- ・ 関西英語教育学会と共催の第 15 回 卒論・修論研究発表セミナーにて広報を担当：平成 24 年 2 月 11 日
- ・ 中国・四国支部研究会：第 1 ブロック研究会：平成 23 年 10 月 1 日，第 2, 第 3 ブロック研究会：平成 23 年 10 月 15 日
- ・ 中国・四国地区大学間連携イベント大学生 Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会：平成 23 年 12 月 17 日

2 号事業報告：

(1) 『紀要』の刊行

- ① 平成 23 年 10 月 31 日に『JACET Journal』53 号を刊行。掲載論文 7 件。
- ② 平成 23 年 3 月 31 日に『JACET Journal』54 号を刊行。掲載論文 4 件。

会員より応募された論文、リサーチ・ノート、及びブックレビューの 3 つの分野における論文を厳正に審査し、掲載、非掲載を決定した。それぞれ会員及び英語教育関係者、及び国立

国会図書館、国立情報学研究所へ送付した。海外提携学会等へも送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。また、50 回記念国際大会にて「紀要の過去、現在、未来」をテーマに特別シンポジウムを行い、既刊の紀要についての研究テーマや方法の傾向を分析し、英語教育の流れとの関連を概観した。

(2) 『JACET 通信』の刊行

- ① 平成 23 年 7 月 1 日に『JACET 通信』179 号（日本語、印刷版および Web 版）を刊行。
- ② 平成 23 年 10 月 1 日に『JACET 通信』180 号（英語、Web 版）を刊行。
- ③ 平成 23 年 11 月 1 日に『JACET 通信』181 号（大会特集号）（日本語、印刷版および Web 版）を刊行。
- ④ 平成 23 年 12 月 1 日に『JACET 通信』182 号（日本語、印刷版および Web 版）を刊行。
- ⑤ 平成 24 年 3 月 1 日に『JACET 通信』183 号（英語、Web 版）を刊行。

以上、合計 5 回の通信の刊行を行い、大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより、会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また、国内の他学会からの寄稿により、学際的な教育や研究の動向を知ることでもできた。

(3) 「英語教育学大系」全 13 巻の刊行完了

平成 23 年度には以下の 4 巻を刊行し、昨年度までに発行のものと併せて、「英語教育学大系」全 13 巻の刊行を完了した。大修館書店『英語教育』書評欄で英語教育の専門家から高い評価を受け、ほとんどが再版されている。大学英語教育学の確立と日本の大学英語教育の改善に資することができた。

- ①第 13 巻 『テストイングと評価』
- ②第 12 巻 『英語教育におけるメディア利用』
- ③第 2 巻 『英語教育政策』
- ④第 5 巻 『第二言語習得』

(4) 『JACET50 周年記念誌』の刊行（平成 24 年度刊行予定）の準備作業

JACET の創立 50 周年を記念し、平成 24 年 3 月 31 日付けで『JACET50 周年記念誌』を発行する。実際の発行自体は平成 24 年度になるが、編集作業は平成 23 年度に開始した。

(5) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し、会員及び英語教育関係者等へ送付した。支部紀要は、支部会員の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えた。また、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

- 『北海道支部紀要』9 号 平成 24 年 3 月 14 日
- 『TOHOKU TEFL』4 号 平成 24 年 3 月 31 日
- 『関東支部学会誌』8 号 平成 24 年 3 月 31 日
- 『中部支部紀要』9 号 平成 23 年 12 月 23 日

- 『関西支部紀要』 14号 平成 24 年 3 月 31 日
- 『中国・四国支部研究紀要』 9号 平成 24 年 2 月 28 日
- 『九州沖縄支部紀要』 16号 平成 23 年 11 月 30 日

(6) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

- 北海道ニューズレター24号 平成 24 年 3 月 31 日
- 東北支部通信 38号 平成 23 年 3 月
- JACET Chubu Newsletter No.26 平成 23 年 5 月 10 日
- JACET Chubu Newsletter No.27 平成 24 年 2 月 1 日
- 関西支部ニューズレター56号 平成 23 年 4 月 1 日
- 関西支部ニューズレター57号 平成 23 年 5 月 29 日
- 関西支部ニューズレター58号 平成 23 年 7 月 26 日
- 関西支部ニューズレター59号 平成 23 年 10 月 24 日
- 中国・四国支部ニューズレター 7号 平成 23 年 7 月 11 日
- 中国・四国支部ニューズレター 8号 平成 24 年 1 月 25 日
- 九州・沖縄支部ニューズレター 27号 平成 23 年 4 月 15 日

3号事業報告：

(1) 大学英語教育学会賞の表彰（学術賞・新人賞・実践賞）

平成 23 年 9 月 7 日の全国大会時に、大学英語教育学会賞の実践賞が著書『Writing for Academic Purposes 一英作文を卒業して英語論文を書く』（ひつじ書房 2010）を共同執筆した田地野彰、ティム・スチュワート、デビッド・ダルスキー、藤岡真由美、クレイグ・スミス、金丸敏幸、マスワナ紗矢子の各氏に授与された。学術賞と実践賞は該当者がいなかった。

(2) 関係学術団体への派遣

① RELC (Regional Language Centre)

平成 23 年 4 月 18 日から 20 日にシンガポール共和国で開催された第 46 回 RELC 国際セミナーに本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行なった。大会参加の成果は学会ホームページに掲載。

② KATE (The Korea Association of Teachers of English)

平成 23 年 7 月 1 日から 2 日に大韓民国ソウル市で開催された KATE 2011 International Conference に本学会より学会代表者を 1 名派遣して、研究発表を行ない、学術交流及び情報交換を行なった。その成果は学会ホームページに掲載。

③ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

平成 23 年 11 月 12 日に大韓民国ソウル市において開催された ALAK 2011 International conference において本学会より学会代表者を 1 名派遣し、研究発表を行

い、学術交流を実施した。その成果は学会ホームページに掲載。

④ **ETA-ROC**

平成 23 年 11 月 11 日から 13 日に台湾の台北市で開催された **The 20th International Symposium and Book Fair on English Teaching** には会長神保尚武氏が JACET を代表して出席した。研究発表を行い、学術交流を促進した。その成果は学会ホームページに掲載。

⑤ **MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)**

平成 23 年 5 月 30 日から 6 月 1 日にマレーシアで開催された第 20 回 MELTA 国際大会に本学会の代表者 1 名を派遣し、研究発表を行い、学術交流を実施した。その成果は学会ホームページに掲載。

⑥ **AILA (国際応用言語学会)**

平成 23 年 8 月 23 日に中華人民共和国 の北京市で開催された **EBIC business meeting** に本学会より代表者 1 名を派遣した (JACET の代表者として会議出席)。報告書は理事会に提出。

⑦ **PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)**

平成 23 年 9 月 23 日から 24 日に大韓民国の釜山外国語大学校で開催された **PKETA** 大会に本学会代表者 2 名を派遣し、研究発表を行い、教育・学術交流を深めた。成果は学会ホームページに掲載。

⑧ **Thai TESOL(Thailand TESOL)**

平成 23 年 1 月 21 日から 23 日にかけて、タイ王国バンコク市で開催された第 32 回 **Thai TESOL** に本学会より代表者 1 名を派遣した。研究発表を行い、学術交流および情報交換を活発にして研究活動を促進するよう努めた。成果は学会ホームページに掲載。

(3) 提携学会からの代表者受け入れとビジネスミーティング

大学英語教育学会の提携学会からの代表者を 50 回記念国際大会 (8 月 30 日～9 月 3 日) に受け入れ、国際交流、協力活動に関する事業を計画し、招待講演に関わる手配、アテンドなどを行った。また、JACET 国際交流委員とのビジネスミーティングを行い、情報交換と今後の今日協力体制について話し合った。結果は運営委員会にて報告した。

4 号事業報告：

(1) 第二次 ICT 調査研究

①平成 23 年 9 月 2 日に JACET-ICT 調査研究特別委員会特別企画としてシンポジウムを開催した。全国で行われている ICT を活用した語学授業実践の最前線について発表し、情報を交換した。また、平成 23 年 6 月 27 日にシンポジウムを開催し、委員会活動の報告を行った。

②平成 24 年 3 月 31 日、活動報告書を出版した。ICT を活用した語学教育の現状を、2007 年度と 2008 年度、2009 年度、2010 年度、2011 年と年度ごとにまとめ、会員が参考にできる

ようにした。ICT利用の発展や、各大学での取り組みがわかり、今後ICTを語学授業に取り入れる者にとっての良い指針となった。

(2) 第二次授業学研究（大学におけるリメディアル教育の在り方に関する調査研究）

全国代表者会議を平成23年5月22日、平成23年8月30日に行った。実践事例を『高等教育における英語授業の研究—学習者の自律性を高めるリメディアル教育—』にまとめた。このことにより授業学研究の全国的基盤をさらに強めた。

(3) 専門分野別の研究会活動

本学会には現在41研究会があり、各研究会はそれぞれの分野の調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を定期的に行なっている。そして、研究会担当委員会はそれらの各研究会の活動を支援している。その結果、本活動が会員・非会員相互の専門知識と技術の向上及び大学英語教育の発展にも寄与している。

5号事業報告：

(1) JACET創立50周年記念寄付事業

JACET創立50周年を記念して、第50回記念国際大会を福岡市で開催、50周年記念誌の発行、50周年記念刊行事業（「英語教育学大系」全13巻）、の刊行を行い、これらの事業を通して会員および非会員へ研究成果を伝達または配布し英語教育界全体の発展を目指した。この為の資金の一部として、JACET会員をはじめ、関係者に寄付金を募り、今年度目標額100万円を達成した。

(2) 諸会議の開催

- ① 平成23年6月19日 平成23年度第1回定例理事会の開催
- ② 平成23年6月19日 平成23年度第1回定例社員総会の開催
- ③ 平成23年8月30日 平成23年度第1回臨時理事会
- ④ 平成23年12月18日 平成23年度第2回臨時理事会
- ⑤ 平成24年3月24日 平成23年度第2回定例理事会の開催
- ⑥ 平成24年3月24日 平成23年度第2回定例社員総会の開催
- ⑦ 定例運営会議の開催。8月と1月を除く毎月1回開催。年間合計10回開催。

(3) 会長選挙・支部長選挙・社員選出の実施

定款に則り、平成24年度からの新体制準備のための会長選挙、支部長選挙、社員の選出を行った。

(4) 定例委員会

定例の運営委員会、支部委員会、支部総会、支部役員会を適宜行った。

以上